

IoT 時代のパーソナルデータの利活用と保護

佐藤一郎

国立情報学研究所

IoT の普及により、現実世界に関する様々なデータを取得できるようになっている。しかし、そのデータには個人情報やプライバシー情報が含まれることから、慎重な取り扱いが望まれ、特にソフトウェア開発では、その開発段階からプライバシー保護を考慮しておかないと、プライバシーの侵害や漏洩事件につながる可能性が高まる。また、ビッグデータ及び IoT の技術発展にあわせて、国会では個人情報保護法の改正審議が進んでおり、その動向を概説することは IoT はもちろん、組込コンピュータのソフトウェア開発においても必須である。講演では IoT により取得できるパーソナルデータとその利活用を概観するとともに、内閣官房「パーソナルデータに関する検討会」委員及び同検討会技術検討WG主査を経験した立場から、個人情報保護法に関する改正動向を概説するとともに、法改正における組込コンピュータ及び IoT のソフトウェア開発で留意する点を概説する。